

広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）

オープンカンファレンス（脳腫瘍）

2020年1月14日（火）19時00分～ 広島がん高精度放射線治療センター 2階 会議室1

【開催経緯】

センターでは、開設以前からこれまで、各病院より選出された委員及びオブザーバーとHIPRAC医師との間で、適応疾患や治療プロトコールについて検討する「臓器別検討会議」を定期的で開催しておりました。開設して5年目に入り、センターに紹介していただく患者状況等が安定してきたことから、より多くの医師や医療従事者の皆様へ、HIPRACのことや各臓器のがん治療における最新情報（手術・放射線治療・薬物療法等）を提供する場を作るべく、オープンカンファレンスを開催する運びとなりました。



◆座長
広島大学病院
脳神経外科
栗栖 薫 教授



◆司会
広島がん高精度放射線治療センター
永田 靖 センター長



当日、当センターの権丈副センター長から、「センターの治療成績（脳腫瘍）」を報告し、広島大学病院脳神経外科の山崎診療准教授より「中枢神経系悪性腫瘍」についての講演が行われました。また、各病院から参加いただいた委員及びオブザーバーによる意見交換を行いました。参加者は35名であり、盛会裏に終了することができました。当日の様子をご紹介します。

講演1 《HIPRAC治療成績報告》 19時00分～19時15分

◆講師 広島がん高精度放射線治療センター 権丈 雅浩 副センター長



◎センターの治療成績を報告

【脳腫瘍治療成績】

原発性脳腫瘍：31例

転移性脳腫瘍：106例

(2015.10～2019.12)

◎センターでの脳腫瘍に対する治療について解説

☆転移性脳腫瘍における定位照射の対象及び症例に応じた検討について、実際の症例を基にMRI画像を提示し、説明が行われた。

☆脳転移に対するHIPRACでの定位照射の結果を、実際の症例を基に報告し、治療方法の詳細について説明された。

センターの最新治療成績を公表することで、センターにおける診療について多くの先生方にご理解いただく良い機会となったのではないかと思います。お忙しいところ参加いただきました皆様へ感謝申し上げます。

講演2 《中枢神経系悪性腫瘍》 ※癌治療、転移性脳腫瘍について解説

19時15分～20時15分

◆講師 広島大学病院 脳神経外科 山崎 文之 診療准教授



◎膠芽腫

☆膠芽腫の標準治療について、実際の症例を基に、MRI画像や手術動画を提示して説明された。

◎中枢神経原発悪性リンパ腫

☆中枢神経原発悪性リンパ腫の診療ガイドラインに基づき、治療方法について解説された。

◎転移性脳腫瘍

☆「疫学と診断」「治療」「予後因子」「癌性髄膜炎と放射線壊死」「がんと脳卒中」について、それぞれ詳しく解説された。

実際の手術動画や症例に基づいて解説がなされたことで、参加された医師からは「とても勉強になった」との意見が多数ありました。

講演3 《各施設の現状報告》 20時15分～20時30分

広島がん高精度放射線治療センター運営協議会 臓器別検討会議の委員・オブザーバーより、各施設の現状等について報告いただき、センターとの連携について意見交換を行いました。

いつも患者さんを紹介いただいております先生方からの貴重なご意見を参考に、今後も安全で質の高い治療を提供できるように精進して参ります。

◎この度参加いただいた委員及びオブザーバーの所属医療機関一覧

- ◆脳神経外科等：広島大学病院、広島赤十字・原爆病院、JR広島病院、マツダ病院、済生会広島病院、梶川病院
- ◆放射線治療科：広島大学病院、広島赤十字・原爆病院、広島がん高精度放射線治療センター

がん治療についての最新情報を提供する場として、このようなオープンカンファレンスを引き続き開催いたします。現在、**乳がんのオープンカンファレンス**の開催を予定しております。開催が決定し次第、案内を当センターHPに掲載しますので、皆様からのお申込みをお待ちしております。

【問い合わせ先】

〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里三丁目2番2号

(TEL) 082-263-1330 (FAX) 082-260-1331

(MAIL) office@hiprac.jp (HP) <http://hiprac.com/>



がん医療を
より高度に
より優しく



HIPRAC

Hiroshima High-Precision Radiotherapy Cancer Center
広島がん高精度放射線治療センター【ハイブラスック】